

大泉旧筆記
下

K 210
才 才
2



栗田氏の所す方よりありき事西岡の伝南房より
 のり山形山より山より山より山より山より山より
 伝入又義光の臣新近御を山形山の伝
 伝と云ふと新左五郎と成徳伝との伝
 伝と云ふと伝一及地伝と伝
 の傳を責んて柳市山山形山山形山の傳
 傳と云ふと伝一及地伝と伝



田山入と云ふ或は伝と西岡の伝云ふと山形
 一山形川の伝と云ふ伝と云ふ伝と云ふ伝

の子と居く故の面より今高野の後神の南
今一子と上林

若匠と云者も河内のも氏三子と
三子と云者も
今一子と上林

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

河内北よりと云と坊は向原の御と居く者

K210
0
2

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

河内の所はく今三十三
布と云より長崎付北也

あつては方お道は志田に鹿毛ありと伊豆の
乳牛を以て今傳へしり川に父をたすし地所を
領し居るをたむ地所を領し居るを
或は多岐子孫ありと云ふも方多岐地所ありて一
の地所の地所を領し居るをたすし地所を
或は多岐子孫ありと云ふも方多岐地所ありて一
く志村伊豆の酒田の地所を領し居るをたすし地所を
とて三村ありて長谷堂の地所を領し居るを
らありありと云ふも二部ありて或は之の領し居る
の地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を

領の地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を
とて三村ありて長谷堂の地所を領し居るを
病れん地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を
二月にありて或は病れん地所を領し居るをたすし地所を
智恵の地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を
也れん地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を
年上七千ありて或は病れん地所を領し居るをたすし地所を
二部ありて或は病れん地所を領し居るをたすし地所を
或は病れん地所を領し居るをたすし地所を領し居るをたすし地所を

之のいのりく、同年二月庄内二郡を西開す。
編

梅も、この頃田代三村伊豆景と七年病
飛込の市を治す皆城代に京都より、四月十九日
六月に到るの秋果、因幡一帯を治す、志村九月
之頃、中野を領し、新く、城之北、後、中
山、山形、老、臣、中、之、之、因幡、之、中
か、く、之、後、田代、氏、所、之、以、中、門、田、道、河
元、都、之、中、到、る、の、後、氏、之、中、之、河、白、鐵、却

秋田在系城を治す、新く、之、之、之、如、八年、九月、城、代
之、中、之、中、後、氏、の、者、中、後、田、代、氏、の、所、之、中、之、中、

○唐の寺は我志下、寺、所、之、中、之、中、

高乃、所、之、中、之、中、之、中、
下ノ山王

高、中、所、之、中、之、中、之、中、
中、所、之、中、

高、所、之、中、之、中、之、中、
天、瑞、之、中、

高、七、所、之、中、之、中、
鶴、之、中、之、中、

高、山、所、之、中、之、中、之、中、
高、山、所、之、中、

高、所、之、中、之、中、
新、山、所、之、中、

高石寺中々々々々々々々

高石寺中

高石寺中々々々々

高石寺中

高石寺中々々々々

高石寺中々々々々

高石寺中々々々々

高石寺

高石寺中

高石寺清心寺

高石寺西雲寺

高石寺龍藏寺

高石寺般若寺

高石寺普賢寺

高石寺高善寺

高石寺福徳山坊中

高石寺分良四神

高石寺氣以方格院

高石寺中々々

高石寺中々々々

高石寺中々々々

高石寺中々々々

高石寺中々々

高石寺中々々

高石寺中々々

高石寺中々々

高石寺中々

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高石寺坊中

高山石

高山石名五ヶ所

高山石名五ヶ所

高山石名五ヶ所

高山石七ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高山石五ヶ所

高杉三石

新田目付林照子

高杉三石七十九年

高杉村水島寺

高杉三石三十九年

高杉川寺行寺

鶴ヶ島所幅長

一 荒所

長百ノ所

幅三回

長杉所

一 下野所

長ノ所

幅少

一 八里所

長ノ所

幅三

一 中野所

長ノ所

幅三

一 中野所

長ノ所

幅中

一 三ノ所

長百ノ所

幅三

一 中野所

長ノ所

幅中

一 十四所

長百ノ所

幅三

一 中野所

長百ノ所

幅中

一 一四所

長百ノ所

幅三

一 七ノ所

長百ノ所

幅三

一 南所

長七ノ所

幅中

一 上野所

長百ノ所

幅三

一 中野所

長ノ所

幅三

一 新河

長山百の所せり

之和八年十月忠勝公居の所を後河原城と
名ふりし所目録に

龜ヶ崎長久寺より所目録

所上河原の

河之原石道

元和八年九月十日

門田造師元

丑 丑

お馬ち橋後ツヨ

泉石寺の所

石目録に云お馬ちの所は後河原に在り

お馬ち橋元

泉石寺

元和八年十月十日

依政 丑

河井官の所

高方但馬守

龜ヶ崎長久寺より所目録に云

所上河原

石目録に云

元和八年四月十日

定政 丑

酒井重友の書

高力但馬守

鶴ヶ島長兵衛の目録

目録

石井下 如言白し 何の事

三河白織切平

親満

元和八年五月十日

駒井右衛門

重友

秋山左衛門

光信

城 主 悟

親満

市原長三郎

杉山九郎

松島清兵衛

乃井大膳

一〇年所中入

島田

徳吉

山形

山形

山形

右之字河内儀の秋山は系城を移りて守り候
事由一之字河内儀の何れに候

元和八年十月七日

本夏七之儀

茂 由

杉山九之儀

吉 由

杉山九之儀

宗 由

柳永九之儀

加藤号九之儀

七子川九之儀

萩原内匠

庄内鶴急城守より一或号島守の吉吉目録

一山形内守の吉吉目録

中野

元和八年四月七日

坂 岡 清

五

山田十人

五

河井宮内大臣内

高力但馬守

○お原紀後とち廣河領御人

寛永九年六月の原紀後とち廣河領御人河井高力補
之の領ありし御代より三十一日御代領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

御代より河井高力とち高力領御人河井高力

ツルハチノ...

杉村より

杉下氏

三ノ丸

村尾村

谷崎

平井

お藤

お藤

生田

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

Main body of handwritten text on the right page, including names and dates.

ツルハチノ...

杉村より

杉下氏

三ノ丸

村尾村

谷崎

平井

お藤

お藤

生田

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

お藤

出舟の好三外あり成るるをわらふく山崎を
 有居士とく 色給 行中とく 石手河井云云の所
 ありとありし山崎十一年一月七日就けりて其の月
 ありの所は翌十六年未六月石河井外にありし何
 と云ふ所の所あり成りたるなり

- 一 高少の者 多光 七右川権左馬 一 高少の甲乙 王田市志
- 一 高七の者 多光 石原 与馬 一 高少の甲乙 石原三右馬
- 一 高少の者 多光 杉山七右馬 一 高少の甲乙 杉山三右馬
- 一 高少の者 多光 依り市右馬 一 高少の甲乙 依り市右馬

一 高少の者 永田治重 一 高少の甲乙 山平治重

右所 中継他別浪とく

- 一 高少の者 多光 木多市右馬 高少の甲乙 木多市右馬
- 一 高少の者 多光 少右七右馬 高七右馬 少右七右馬
- 一 高少の者 多光 下市右馬 高少の甲乙 下市右馬
- 一 高少の者 多光 遠坂市右馬 高少の甲乙 遠坂市右馬
- 一 高少の者 多光 依利市右馬 高少の甲乙 依利市右馬

右所 依利市右馬七右馬七右馬

○ 庄内酒井公家中先祖市右馬一也

酒井公家列

忠政公四男

杉平高三郎

忠政公五男

酒井吉三郎

忠政公七男

酒井高三郎

忠政公四男 先平俊敏

石平高三郎

水即高三郎

石平高三郎

阿高平高

石平高三郎 先平俊敏 以前

竹内高三郎

言い出ぬころのむね

竹内高三郎

竹内高三郎

酒井高三郎

酒井高三郎

右之 権理依上意 参列 吉田

杉山高三郎

忠政公四男

杉山高三郎

杉山高三郎

山田高三郎

忠政公五男

山田高三郎

山田高三郎

芳賀高三郎

芳賀高三郎

芳賀高三郎

川合高三郎

川合高三郎

川合高三郎

中依高三郎

中依高三郎

中依高三郎

佐原高三郎

佐原高三郎

佐原高三郎

森 或足

森 或足

森 或足

忠政公四男 梅林俊敏

赤松十藏

安原内吉

尾崎又四郎

山井新五

山井新八郎

山原内吉

相馬助吉

山崎吉平

栗口吉吉

手向内吉

金井吉六

長坂内吉

大佛新七

藤原吉吉

藤原小吉

佃井新三

山崎新吉

大岡新吉

山川内八

山原新吉

山原新藏

尾山助吉

山崎新吉

山崎新吉

横山八三郎

高尾新吉

角田新吉

中山新吉

山崎新吉

中村丹后

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

志勝公代号 成道院殿

山崎新吉

山崎新吉

中村七三郎

山崎新吉

山崎新吉

山崎新吉

芝田常高

山口常高

石原伊直

或山島常

平村昌高

新 南高

新 弘

流石味高

吉井 守高

高柳八高

田中 新高

石川 栞高

中村 丑高

江口 常高

中村 高

吉原 惣高

吉原 利高

吉原 年高

七坂 又高

石井 丹高

河井 高

中村 喜高

北川 出高

丹羽 伊直

石原 常高

石井 新高

石原 高

南高列家

丑高列家

石井 安高

梅原 高

高崎 直高

後部 常高

早田 昌高

梅本 代高

井 高

林 高

西原 新高

切原 高

赤世 高

豊原 高

山中 高

和田 伴高

川原 八高

馬場 高

那山 高

河地 仁高

津尾 高

高田 高

少川 高

和田 高

折田 高

大津 高

石井 高

真村 高

石原 高

少田文部

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

山口何志

中島橋左

永井仙左

上地嘉右衛門

平野半左

田原仙左

石井久助

長山五右衛門

後藤左衛門

松平杵右衛門

竹内清右衛門

船橋左衛門

吉田久左衛門

吉井伊右衛門

高力清左衛門

吉田三右衛門

少原右衛門

島崎玄仲式部

大島虎殿

結城勢右衛門

脇野左衛門

結城伊右衛門

切子六右衛門

滝本中右衛門

川口安右衛門

中島仙左衛門

中田七右衛門

堀田仙左衛門

上田信左衛門

長谷川半左衛門

長尾左衛門

中反新右衛門

柳本安右衛門

大熊三右衛門

坂田左衛門

田山十右衛門

中島文左衛門

石原勘右衛門

桑田五右衛門

杉村久右衛門

杉村市右衛門

荻原左衛門

宇坂南左衛門

吉坂左衛門

三宅右衛門

伴清右衛門

三浦惣右衛門

為田少七

杉長半左衛門

相良半助

丸橋水吉

丸橋大八

平左衛門

永吉

伊豆越前
四田平左
杉田平左

田永平中
乃平 門左
乃平 越前

山崎平左
矢嶋利助
山崎平左

大坂平左
杉田平左
荒川平左

三之丞平左
少保平左
色屋平左

赤坂平左
三巻平左
廣平平左

算平平左
河内平左
山川平左

石川平左
村井平左
藤平平左

山崎平左
乃平平左
加平平左

近田平左
乃平平左
乃平平左

お良平左
乃平平左
乃平平左

中村平左
乃平平左
乃平平左

田中平左
乃平平左
乃平平左

乃平平左
乃平平左
乃平平左

乃平平左
乃平平左
乃平平左

乃平平左
乃平平左
乃平平左

乃平平左
乃平平左
乃平平左

乃平平左
乃平平左
乃平平左

伊豆平左
乃平平左
乃平平左

林 方良

原 叶

七三川之元

元田之吉

伴 武吉

井 伊吉

藤原之吉

小倉之吉

大崎部之吉

高田之吉

大井之吉

元息之吉

加藤之吉

津田之吉

柳原之吉

川内之吉

高橋之吉

别日之吉

永原之吉

永原之吉

忠臣公仲代号长寿院殿

小原之吉

小原之吉

新保之吉

高木之吉

神木之吉

中村之吉

中村一子

高野之吉

井上之吉

伴仁之吉

半田之吉

依田之吉

相之吉

島海之吉

富田之吉

大川之吉

河内之吉

川内之吉

加藤之吉

高田之吉

加藤之吉

右田之吉

高坂之吉

武原之吉

相之吉

河内之吉

三之吉

高田之吉

高野之吉

高野之吉

方子水石

之平 音庵

方子水石

平子り列

方子り列

方子り列

新五り列

那志り列

平子り列

印丹り列

お良り列

全升り列

信山り列

中り列

中り列

忠真り列

子丹り列

平也り列

中り列

世丹り列

後切り列

多り列

田丹り列

少川り列

少川り列

大津り列

少志り列

核山り列

前妻り列

今也り列

安長り列

下妻り列

傳内

神津り列

後切り列

後切り列

神原り列

山崎り列

山崎り列

神原り列

坂部り列

大塚り列

原り列

新原り列

大塚り列

神原り列

西久り列

西久り列

忠真り列

源院殿

源院殿

大久保り列

山本り列

集り列

佐藤り列

佐藤り列

方子り列

今泉首之

信生直吉

寺坂十之

杉井四郎

三好叶母

安田又作

長田平次郎

栗原仙吉

今泉瑞作

橋 良繩

林 九吉

原田又作

青山又吉

井中清吉

少野之保

川竹又吉

大山和馬

神戶五三郎

金子安吉

高橋平内

此 玄吉

多賀谷丹后

藤河権左郎

田原一吉

武井元助

水原之吉

中山忠吉

中川小吉

村忌吉藏

村井源新

小島三平

寺井八吉

馬川平吉

山本道玄

杉本一助

山村一助

平井与吉

加原新四郎

右年伴藏

高田義吉

伊豆十吉

井原辰吉

村井又市

寺尾又助

吉田平吉

福地吉吉

杉本吉人

杉本辰吉

杉本多吉

杉本辰吉

乃桑又吉

乃桑祐助

乃桑又吉

乃桑又吉

今泉首之

杉井四郎

長田平次郎

橋 良繩

青山又吉

川竹又吉

金子安吉

多賀谷丹后

武井元助

中川小吉

小島三平

山本道玄

平井与吉

高田義吉

村井又市

福地吉吉

杉本多吉

乃桑祐助

信生直吉

三好叶母

栗原仙吉

林 九吉

井中清吉

大山和馬

高橋平内

藤河権左郎

水原之吉

村忌吉藏

寺井八吉

杉本一助

加原新四郎

伊豆十吉

寺尾又助

杉本吉人

杉本辰吉

乃桑又吉

寺坂十之

安田又作

今泉瑞作

原田又作

少野之保

神戶五三郎

此 玄吉

田原一吉

中山忠吉

村井源新

馬川平吉

山村一助

右年伴藏

井原辰吉

吉田平吉

杉本辰吉

乃桑又吉

乃桑又吉

ワリ
芳賀市
又甲子列

馬場市
又甲子列

中倉市
又甲子列

小原市
又甲子列

山口市
又甲子列

石川市
又甲子列

地味市
又甲子列

山手市
又甲子列

松尾市
又甲子列

中世市
又甲子列

杉市
又甲子列

村井市
又甲子列

巴市
又甲子列

田中市
又甲子列

志賀市
又甲子列

地味市
又甲子列

山田市
又甲子列

馬場市
又甲子列

末市
又甲子列

大市
又甲子列

山田市
又甲子列

切市
又甲子列

田中市
又甲子列

志賀市
又甲子列

地味市
又甲子列

山田市
又甲子列

馬場市
又甲子列

古川市
又甲子列

相模市
又甲子列

与市
又甲子列

津市
又甲子列

伊市
又甲子列

高市
又甲子列

三市
又甲子列

地付市
又甲子列

安市
又甲子列

津市
又甲子列

与市
又甲子列

博市
又甲子列

乃市
又甲子列

人市
又甲子列

乃市
又甲子列

秋市
又甲子列

地付市
又甲子列

安市
又甲子列

中市
又甲子列

勝市
又甲子列

上市
又甲子列

相市
又甲子列

神市
又甲子列

志市
又甲子列

秋市
又甲子列

忠宗公仲代号 重光没殿

纪左方人 马川新庄

大沼五年 海井新庄 马耳新庄

山中助造 方世新庄 大田平庄

市田及造 市田之化 森 春候

弓 杉敷 伊原田氏 少村大右

村 高吉 比开利八 乃惠高庄

市田高吉 十河新庄 春吉庄

市田高吉 伊原新庄 市田新庄

席嶋樞香 石川八平庄 高平助造

井上 傳 芝田久庄 比那助造

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

市田高吉 市田高吉 乃惠高庄

忠宗公仲代号 清之院殿

若 吾伯

○酒井公冲先祖

親氏 (酒井公冲)

忠親 (酒井公冲)

康忠 (酒井公冲)

氏忠 (酒井公冲)

家次 (酒井公冲)

忠嵩 (酒井公冲)

親清 (酒井公冲)

忠吾 (酒井公冲)

忠次 (酒井公冲)

忠勝 (酒井公冲)

忠義 (酒井公冲)

忠温 (酒井公冲)

忠真 (酒井公冲)

忠壽 (酒井公冲)

忠昭 (酒井公冲)

忠昭 (酒井公冲)

忠昭 (酒井公冲)

忠昭 (酒井公冲)

忠昭 (酒井公冲)

忠信公 一 羽前屋内抄写云

三和ハニニ午

○阿古先但勅之景

一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景

一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景

一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景

一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景
一 阿古先但勅之景

勿庸歎也。行者。予。丁。卯。年。冬。由。仙。臺。出。行。也。
少。女。亦。多。之。也。彼。日。向。西。而。歸。亦。由。及。之。之。之。也。
大。下。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。
予。亦。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。
少。女。亦。多。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。
行者。申。

一。少。女。亦。多。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。
少。女。亦。多。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。一。少。女。之。也。
行者。申。

一 如右の後方このついでに
右田毎の事情ありては
いかに安んずるに相成りて
おるにや

一 大同拾玖年八月廿日
右田毎の事情ありては
いかに安んずるに相成り
ておるにや

六月三日

右田毎の事情ありては
いかに安んずるに相成り
ておるにや

○ 高方伊勢守常長在りては

寛文三年戊申二月十七日
右田毎の事情ありては
いかに安んずるに相成り
ておるにや

心は徳よりしてせしむる信所より抽出せし
らくをきしし此より一件に著し可き事とありて思
はれし市に著しぬれぬれ式の時又しつら局より作
るべししと著しなり信し可き事とありし
御中より其の如くはれぬれぬれ此の如くはれぬれ
忠節の事し可き事とありて御中より其の如くはれぬれ
者なき事なりし事とありてはれぬれぬれ此の如くはれぬれ
なき事なりし事とありて御中より其の如くはれぬれ
何事なき事とありてはれぬれぬれ此の如くはれぬれ

ち衆の道徳多しとありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
不具より後老くありてはれぬれぬれ此の如くはれぬれ
しししおりの老く入ありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
新しし上布しとありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
名とりぬれ老くありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
ししし書しぬれぬれ此の如くはれぬれ此の如くはれぬれ
しししとありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
しししとありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ
しししとありて事としぬれぬれ此の如くはれぬれ

此之抄紙をとも番鶴の島所表ししは十の
 過海なるはるか一尺とと抄紙をとも番鶴の島所表ししは十の
 尺の御入りの尺をとも番鶴の島所表ししは十の
 尺の御入りの尺をとも番鶴の島所表ししは十の

○三度の便飛嶋之年

飛嶋海上りの島は十八里酒田より三を以浦子の島
 五多敷山百々拾七尺

日百々拾七尺 後浦子 人数二百四十三人 男百四十九人 女九十四人

日甲午の島 浦子 人数百の年 四百六十八人 男四百三十二人 女三十六人

日四十七尺 法東村 人数百の年 四百四十九人 男四百一十三人 女三十六人

寺山より勝浦村より寺多敷島寺 法東村の系多敷島

○庄内中由此二の此同敷之年

一 東ノ方 百回年 一 南ノ方 百拾回年

一 西ノ方 百拾回年 一 北ノ方 百拾回年

中由此同敷の島の拾回年 但し一寺同

一 東ノ方 百七拾回年 一 南ノ方 百拾回年

一 西ノ方 百六拾回年 一 北ノ方 百拾回年

二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一 但云ノ三ノ年

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

右ノ外 中ノ門 中ノ橋 中ノ門ノ深ク

○ 鶴ノ島ノ一ノ中ノ島

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

一 中由此二ノ此回数ノ百五拾五ノ年一

一 矢ノ根 子由百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 弓ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

一 中ノ根 山百五拾五ノ年一 中ノ年一 百五拾五ノ年一

石外軍田一

○石外軍田一

一 渡池 山音り物と足 一 中り 可物と足

玉目おとす

一 隆三音と物と年 一 為是是 四百と物と

一 草是 三音と物と 一 是是是 三音と物と

一 少地是是 少物と 一 是是是 少物と

一 岩到是是 物と 一 是是是 物と

山流下

一 中修 山長 一 中鳥下 山

一 中津貝山 一 螺貝 太 三

一 中津山 一 中津山 三

一 中流 物八 一 中流 物六

一 中島 女物と 一 百七物と年 中島物と年

○庄内中利物一冊

出舟國田川郡一白山百々村三ヶ村

高千穂七子甲百々村の石を甲乙丙と名

他無事一白百々村ハケ村

高千穂七子乙百々村甲乙丙と名

高千穂七子丙百々村甲乙丙と名

石を今百々村と部付し帳面ありて上開ふ

中判一冊あり一冊の帳、石を押通す所

貞享元年一月

本多流儀守

牧野因幡守

一 出舟國田川郡一白山百々村三ヶ村

ハケ村

高千穂七子系洲村半行々合々合個中者何年

貞享元年一月

唐一列寛延二二月の帳目帳目

一 田川郡人高千穂七子乙百々村

日甲乙七子七子の男 日三万七子乙百々村

貞享元年一月一法出人高千穂七子

一 他海船の積居五万石の百三十一 〇〇〇

日七万石の子言女積居 男 〇五万石の子言積居 女

〇〇〇

二 郡の積居五万石の子言積居 〇五万石の子言積居 〇〇〇

日七万石の子言積居 男 〇五万石の子言積居 女

一 〇〇年修年積居五万石の子言積居 〇五万石の子言積居 〇〇〇

〇 今津若松城少石女 〇〇〇 〇五万石の子言積居 女

一 酒井官の左補乃積居寛永二十年 未年月十日山百石積居 庄内より五石〇〇年〇月〇日あり 若松少石積居女

〇〇年〇月〇日庄内より少石積居

會津の上段

伊丹順之助 宝永御書 能登少平布 所御長門 多賀太道

日七五石

一本此所は駿馬山百石積居 酒井官の左補

一 越中梅口 山百石 丹波佐々方人

一 越中梅口 可積 海口山百石

一 〇〇〇 可積 三好山城守

東山也三平 尾井劫也 沼子市也 比田七原
西内新也 沼子也 仁徳傳也 高橋七原
本交市三平 乃東海也 今也也馬也 高橋也
及也也也 丹波也 吉田也 小丸也
泉井也 小丸也 如殿也 田中也
中島也 水也 花也 河也
津津也 大陽也 少也 古本也
長也 胎也 高井也 河也
高也 比也 河也 河也
古井也 水也 比也 比也 比也
伊也 高也 高也 高也
小也 乃也 乃也 乃也 乃也
早也 早也 早也 早也
田也 田也 田也 田也
山也 山也 山也 山也
古也 古也 古也 古也
杉也 杉也 杉也 杉也
廣也 廣也 廣也 廣也

東山也三平 尾井劫也 沼子市也 比田七原
西内新也 沼子也 仁徳傳也 高橋七原
本交市三平 乃東海也 今也也馬也 高橋也
及也也也 丹波也 吉田也 小丸也
泉井也 小丸也 如殿也 田中も也
中島也 水也 花也 河也
津津也 大陽也 少也 古本也
長也 胎也 高井也 河也
高也 比也 河也 河也
古井也 水也 比也 比也 比也
伊也 高也 高也 高也
小也 乃也 乃也 乃也 乃也
早也 早也 早也 早也
田也 田也 田也 田也
山也 山也 山也 山也
古也 古也 古也 古也
杉也 杉也 杉也 杉也
廣也 廣也 廣也 廣也

七以平三曲 八山ありて 三毛号たり 伊豆あり
 正岡あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり
 村井あり 印井あり 龍河あり 龍河あり 龍河あり
 河邊あり 印山あり 中野あり 中野あり 中野あり
 上田あり 山川あり 山川あり 山川あり 山川あり
 河邊あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり
 古河あり 伊豆あり 伊豆あり 伊豆あり 伊豆あり
 文口あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり
 乃原あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり 乃原あり

馬上山百首

○山原同法書

一者 杉平権七郎

池井左兵衛

末松吉吉

船橋右三郎

吉金彦彦

杉山右兵衛

山平右兵衛

田中少平

高力少兵衛

二者 高力左兵衛

中津少兵衛

小島右兵衛

角田右兵衛

少野武彦

正田右兵衛

末松左兵衛

杉平彦彦

高力少平

○長少徳同法者

一者 中七右兵衛

池井左兵衛

二者 吉金彦彦

船橋右兵衛

○菅中右者 四三徳七人 四半五八人

○大子中法者

一者 辻右兵衛

田中三平

船橋右兵衛

小川右兵衛

小川右兵衛

田中彦彦

二者 安中彦彦

少保右兵衛

石橋右兵衛

杉田山平

中津三平

中津右兵衛

四三徳七人

四半五八人

○大子入口法者

一者 小島彦彦

船橋右兵衛

池井三平

横山古寺 少入七命

二番 新海寺古寺 杉村古寺 少金山古寺

昌田古寺 少川古寺 四里松古寺

○西中法門寺

一番 牧部古寺 乃尔部古寺 池田部古寺

少黒部古寺

二番 北凡古寺 七河半古寺 お良忠古寺

○勝初法門寺 四里松古寺 乃尔部古寺

○西入口法門寺

一番 或山部古寺 中多古寺 清水傳古寺

少松古寺 河野古寺 松本古寺

二番 高力古寺 伊井古寺

○東中法門寺

一番 尾山部古寺 高力古寺 黒谷古寺

二番 少松古寺 少松古寺 高松古寺

○同入口法門寺

一番 西口古寺 乃尔部古寺 大嶋古寺

二番 杉山部古寺 中里古寺 田村古寺

○南不明法ノ青

四里七ノ

○四宮ノ下ノ青

四里七ノ 四里七ノ

○次ノ下ノ青

四里七ノ 四里七ノ

○少田抱ノ青

一青 乃尔沙ノ青 乃山安ノ青 乃坂ノ青

凡忌ノ青

二青 乃川ノ青 荒井ノ青 伊豆ノ青

山崎ノ青 四里七ノ 乃山ノ青

一 ○乃山田ノ青 乃山田ノ青 四里七ノ

○乃山田ノ青

一青 乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

乃山田ノ青 乃山田ノ青

○乃山田ノ青

一青 乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

乃山田ノ青 乃山田ノ青 乃山田ノ青

江口 沼田 吉田 何取
大所 三毛 藤
田中

○大所道法者

一者 伊井 乃川 高橋
渡 大場 長谷川
丹母 过 山崎
小川 市
田中

○南所口道法者

一者 倉野 藤 方井
太村 和田 今
相 松田 文
乃 安 山
乃 山

○中野下道法者

尾井 吉田 本

○火ノ道法者

山崎平造 御前金造 相并少元

奥村建之助 四里能平久

○ 左火ノ内番 古川久三郎 江後侍造

○ 口中口為番

廣瀬又造 川地市右衛門 陸井半右衛門

辻 三十一郎 伊原三造 上地左三郎

佐々木少三郎 伊原三造

○ 四河守行 酒井九三郎 下平与左

黒谷重三郎 里能平久

○ 河内守行 藤井市右衛門 菅原与三郎

○ 中村左三郎 中村左三郎 与三郎七郎

○ 山口能三郎 山口能三郎

○ 江後侍造 江後侍造

○ 月ノ内番 大津屋左衛門 高橋与三郎

○ 石井与三郎 外侍左三郎 小村九郎

○ 月行指 土肥侍造

○ 以上諸番 少将ハナ新

○ 四揮目

印井五六 町幼布衣 小丘南三向

西田彩子衣

○江戸小島然之る山内流

水所武三向 和宗長命 金吾揚七向

喜方三子命 向井伊助 仁頼源衣

中村玄助 小池久四向 保科九衣

京敷六平衣 少保長衣 隆年八三向

武久九衣 孝多新五向 小出陽十向

○子代馬出の者

リ衣子
河内権衣

和助三向 中村五三向

甲衣子
少指十向

留標五向 丁年沙衣

田村三衣

荒川三三向 上柳衣

長田九衣

山口権三向 馬賢三向

加藤源衣

向井三向

○人馬出の者

萩原中道 加藤利印 新合三向

松平三三向 乃井三三向

小原昌七向

五更丸屋在(通) 是是甲中成少支 敏之乃系保内

○病入

子賢主水 幼解聖命 辻 少賢 本多氏也

○所獲印券方之半

寛永十六年卯年日向ノ命在(通) 少賢方鶴也

城有北ノ城原ノ所ノ由係(通) 上国音

信ノ下升者之 信也(通) 信也(通) 信也(通)

卯七月十日 阿部 阿部 阿部 阿部 阿部 阿部

阿部是信也

卯年信也

阿部 阿部 阿部 阿部 阿部 阿部

○中川(通) 中川(通) 中川(通) 中川(通) 中川(通) 中川(通)

大半田村跡(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

合山石甲(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

廣七年七年 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

行實(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通) 卯年(通)

大平田村少くはし中平黄湯り

合持石六斗七升五合 原

西外

三斗四石三斗五升 左馬之助之儀

八斗五升七合 持子孫之儀

七斗五升 所費持石六斗

持石四斗の儀 中平

有く未をれ所中平原下仕者

是を中平三斗五升 原 西平

中平の儀

○ 中平村安楽寺所持之者

旧中平四斗持りては持り但高持村三斗

安楽寺之を中平八斗持と云ふは中平持

少少の儀に中平持 内少少の儀に中平持

少少の儀に中平持 中平持

三斗の儀に中平持 中平持

中平持 中平持

中平持 中平持

此國の中野に金蔵の寺ありし年、新井村の牛
と今も往之是等寺あり古く之の山といふ

○平田の親考の村石物出の事

安永二年己二月平田の親考の村石物出の事
新山といふ所より石物佛ありあり出づるに
少くも中三人は長々たる石ありしに其の年
見しは梵字あり又勝平の寺ありしに其の
古く之の寺ありし年より其の寺ありしに
之の寺ありし年より其の寺ありしに

○新井の寺に於てある入寂の事

庄内武原寺僧ありしに其の寺ありしに
西河の代龍之上に庄内巡りしに其の寺ありしに
信より四川の僧ありしに其の寺ありしに
石物出の事ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに
寺ありしに其の寺ありしに其の寺ありしに

十王堂と云々... 彼も三三代之匠に於り上
ノ喜多玉柳抄云々の習... 正保九年
十博のりく... 所中と云...
也、此より之... 正保九年
あおもん命... 正保九年
とん都んと云々... 正保九年
りあまくと... 正保九年
正保三四年... 正保九年
島真公... 正保九年

阿のり... 正保九年
鶴... 正保九年
口之平... 正保九年

○加... 正保九年

也... 正保九年
地... 正保九年
云... 正保九年
正保九年
正保九年

りいあきことものと云りれいふ所云はりふりる

○大村寺一筆

卯酉六丁と御川右多もれ親忠三州侍系大村寺大
具如くは但老成初年々御系高月後より下三
州ち馬寺指代ち樹十丁代如書上へ是所云
御父又は是後所所云御一核後御書
記のりて大田寺書本のひり書きと年一書
所はあかひには所所云天正十八年古算り東
八ヶ國の在候し候と云りて所書と云御書と云

四書向ありと一核平均一御書或は所
御書と云りて五書と云りて所書と云りて所書と云り
と御書と云りて御書のりて御書のりて御書のり
書と云りて書と云りて御書のりて御書のりて御書のり
れいし御書のりて御書のりて御書のりて御書のり
之を御書のりて御書のりて御書のりて御書のり
御書のりて御書のりて御書のりて御書のり
老ろ男女御書と云りて御書のりて御書のり
御書のりて御書のりて御書のりて御書のり

加予市印作... 川中橋... 三戌年

66084

大印中川中...

山秋縣西田川郡

鶴岡字上香所

白拾九番地

平民

渡會

山
秋

山形県立図書館



1-0336183-9